

九十九島ホールシアター
 〒858-0022
 鹿子町1008
 ☎28・4187

春の特別展「海きららの水中動物ランド」

陸上の動物や植物などの名前がついた約23種150匹の水中動物が大集合します。
 日程 3月17日④～5月13日⑥
 料金 無料(入館料が別途必要)

小島よしおスペシャルイベント
 一世を風靡した「そんなの関係ねえ!」の小島よしおさんが海きららに登場!楽しいステージを繰り広げます。
 日程 3月18日⑥11時30分、14時30分

アキラボーイデジタルショー
 日本で初めてプロジェクターの映像と融合した音を発案したアキラボーイさんが深海の大冒険をテーマにしたステージを開催します。
 日程 3月25日⑥11時30分、14時30分

昆虫写真家・栗林先生の昆虫教室
 平戸市在住の写真家、栗林慧さんによる昆虫の魅力やアリの目カメラについての講演会や園内での昆虫観察を行います。
 (講演会)
 日程 4月22日⑥14時～14時30分
 料金 無料(入園料が別途必要)
 ※申込不要。

少年科学館「プラネタリウム」

放映開始	10時10分	11時10分	13時	14時	15時	16時
平日	幼稚園、保育所、学校等の団体予約					季節の星座「春」
土曜	学習放映	ドラえもん	ドラえもん	実験プラネタリウム	ドラえもん	
日曜	実験プラネタリウム	ドラえもん	ドラえもん	実験プラネタリウム	ドラえもん	

料金 高校生以上310円、4歳～中学生150円
 ※市民は学習放映が無料です。
 ※放映時間は約45分間。
 ※春休み期間中の平日(3月26日～4月5日)は土曜日のスケジュールで放映します。
 ※火曜・祝日は休館。

場所 九十九島湾大水槽前
 料金 無料(入館料が別途必要)
 親子で行く「子どもも調査隊」世界に1つだけの海そうカレンダー作り!



磯の生き物を見つけるコツを学んだ後、生き物を探集して観察します。また、漂着海藻を使ってオリジナルカレンダー作りも行います。
 日程 4月29日⑥10時45分～16時
 場所 白浜海水浴場 ※雨天時は室内プログラムに変更。
 対象 新小学3～6年生とその保護者
 料金 500円

定員 20人(応募多数の場合抽選)
 申込 3月1日④～31日⑥までに公式サイトで
 ※弁当を持参してください。

海賊船みらい謎解きクルーズ(仮称)
 九十九島海賊遊覧船みらいの船内を舞台に行う体験型の謎解きゲームです。船内に置かれた問題を解きながら脱出を目指します。
 日程 3月17日④～5月6日⑥
 料金 無料(乗船料が別途必要)
 定員 各便200人

九十九島海賊遊覧船みらい探検ツアー
 普段入ることができないみらいの機関室などを探検することができます。
 日程 3月24日④、31日④ ※16時～

料金 無料(小学生以下は保護者同伴)
 定員 各日10人(応募多数の場合抽選)
 申込 希望日の10日前までに公式サイトで

九十九島ビジターセンター
 〒858-0022
 鹿子町1053の2
 ☎28・7919

トビカズラウォーク「神秘の花を歩いて発見!」

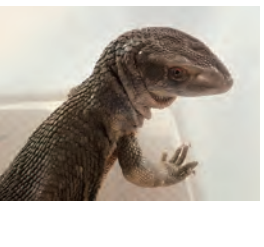


日程 4月21日④10時～12時
 対象 小学生以上
 料金 200円(小学3年生以下は保護者同伴)
 定員 20人

申込 参加者全員の氏名(ふりがな)、生年月日(学年)、性別、代表者の住所、電話番号を記入し、はがき(ファクス(28・7351)、公式サイトで同センター)へ
 〆切 4月10日〆必着

九十九島動物園
 〒857-1231
 船越町2172
 ☎28・0011

森きらら春の特別展「砂漠の生き物展」



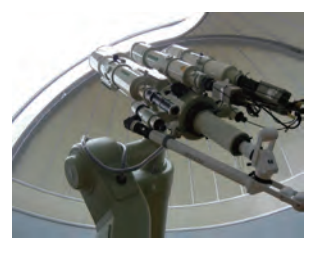
日中の気温は約60度まで上がり、夜にはマイナス20度まで下がることもあるという砂漠。そこに生息する植物や爬虫類を紹介します。期間中の土・日曜、祝日は生き物タッチングガイドも行います。
 日程 3月17日④～5月6日⑥
 料金 無料(入園料が別途必要)

動物の収容時間変更
 3月1日④から動物の収容時間が16時から16時30分に変更となります。

少年科学館
 〒857-0031
 保立町12の31
 ☎23・1517

サイエンスプラネタリウムナイト「はるか地球をのぞく」
 日程 3月23日④18時～18時45分、19時～19時45分
 料金 高校生以上310円、小・中学生150円
 ※小・中学生は保護者同伴。
 定員 各回68人
 申込 3月3日④から電話か直接少年科学館へ(受け付けは9時～17時)

天体観望会「星きらりでスターウォッチングしませんか?」
 天体望遠鏡を使って月のクレーターや冬の星座を観察します。



市立図書館
 〒857-0026
 宮地町3の4
 ☎22・5618

市民ギャラリー展示会
 佐世保大和会「なんとびつくり! 戦艦大和を造ったのは佐世保の人でした!」
 日程 3月11日④～4月8日⑥

今月のおすすぬ図書
生き心地の良い町
 岡 善(講談社)
 全国でも極めて自殺率の低い「自殺最希少地域」。その秘密を4年にわたる現地調査で解き明かします。「ゆるやかな絆」と「やり直しのきく生き方」などの言葉が印象に残る一冊です。

世界を救うパンの缶詰
 菅野子文 やましたつひ 絵
 (ほるぷ出版)
 阪神・淡路大震災の被災者の声を受けて一人の男性が立ち上がりました。試行錯誤の末に完成したパンの缶詰は、日本だけでなく世界中の被災地に届けられます。そんな一つのプロジェクトをやり遂げた町のパン屋さんのお話です。

はじめのちいさないつぼ
 サイモン・ジエームス 作
 小川仁央 訳(評論社)

迷子になったアヒルの兄弟。道に迷っても、くたびれても、じめのいつぼ」を踏み出して、前へ進みます。始まりの季節を前に、優しく背中を押してくれる絵本です。

